

飛騨リンゴの出来“赤丸”

高山市で「ふじ」品評会



丹精込めて育てられたリンゴの味などを審査した品評会＝高山市冬頭町、JAひだ本店

飛騨リンゴの主力品種「ふじ」の第18回品評会が4日、高山市冬頭町のJAひだ本店で開かれ、農家が丹精込めて育てたリンゴの出来栄を競った。飛騨地域の会員が51品を出品し、県飛騨農林事務所の大澤哲夫所長を審査委員長に、12人が色や形、糖度な

どを審査した。

同組合の亀原孝会長

(68)は「昨年の豪雪被害で今年は心配され

たが、天気に恵まれ

順調に育った。どれ

も各系統の良さを引き

出せていた」と話し

た。

出品されたリンゴの

展示・即売会は5日午

前10時から、同市岡本

町のバロー高山店で行

われる。(亀山大樹)入賞者は次の皆さん。

▽金賞1席 中野雅夫

(高山市久々野町)▽同

2席 堤清高(同)▽銀

賞1席 水口康太郎(同)

▽同2席 山本直樹(高

山市西之一色町)▽同3

席 三輪利美(同市久々

野町)▽銅賞1席 加藤

和俊(同)▽同2席 平

田直子(同)▽同3席

岩田浩子(同)